

(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和52年11月1日 第45号 印刷・アート印刷株式会社



収穫も終盤に近づいたこと、思いますがお忙しい毎日、ご苦労様です

今年の牛乳の伸長は昨年引続き順調、八月分では前年比一二%、春からの累計では前年比一五%の伸びであり、皆様のご努力と共に搾乳牛並びに個体乳量の増加が大きな要因と思われる

深く敬意を表する次第です

このことは全道的にも大巾な伸長、反面問題になるのは不足払の対象となる限度数量オーバーである。目下の予測では全国で二〇万トン、北海道では一三万程度オーバーの見込み

ついて道酪对本部を中心に運動体制に入りつつある

又明年に向けての乳価対策、酪農諸対策等にご承知のとおり経済低迷にあり一段と厳しいが一月末迄に農協酪対等を通じ現状の理解と意見集約の予定である。澱粉工場は生産者の出荷契約四〇万俵により生産者の協力を得ながら操業も終盤となった

幸い好天に恵まれ作業も順調であり皆さんの協同の成果を望みたいものである。何れ結果を見て協議しなければならぬのでなからうか

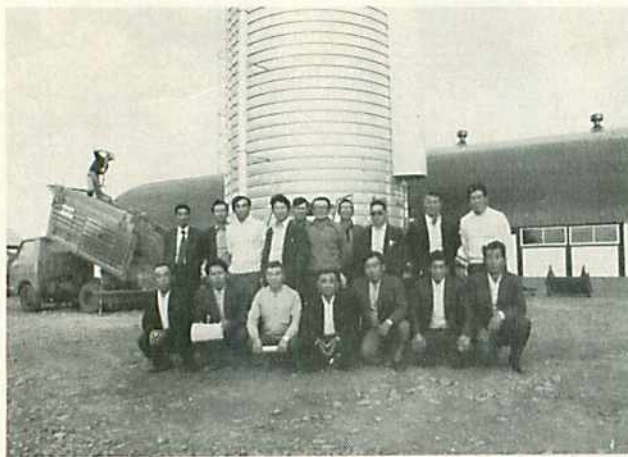
酪対役員の研修視察報告

十月八日～十八日までの十一日、間札幌市で開催された「あすの食糧を考える博覧会」に中標津農協酪対の役員十八名が十一日～十三日の三日間視察を行った。

この博覧会は北海タイムス社が主催し、私たちの生活と食糧のテーマ、「あすの食糧を考える博覧会」『オータムフェア77』の名称で開催したものである。



種牛を見ながら説明を聞く（道央家畜改良事業団）



高橋牧場の主人と記念撮影（十勝清水町）

解説コーナーに本道の食糧基地としての稲作、畑作、酪農、畜産の実体と未来像を展開し、二〇〇カイルイ時代の問題点をわかりやすくしている。(2)フードゾーン（業者）出展、即売、実演の三コーナーを設け、各業者の目玉品をはじめ世界の食糧品や料理を実演。(3)消費者ゾーン相談、味自慢、郷土料理、試食の四コーナーを設け、わが家の味自慢、各府県別の特産品を使った食料などの実演。(4)未来

ゾーン奇蹟の生還をしたタロ、ジローが再会する南極大陸展。屋外ではふるさとゾーン、ちびっ子ゾーンなど盛りだくさんの行事が開かれた。

十二日、博覧会を見学する前に東月寒にある「北海道家畜改良事業団」道央事業所で種牛を見せてもらい、担当者から説明を聞いた。又、帰り十三日は十勝を廻り、清水町熊牛の高橋牧場を見学施設と作業について説明を聞いた。

52年価格決まる

馬鈴薯澱粉価格三・四%アップ

- ①五十二年産原料基準価格（でん粉歩留一六・五%以前年同じ）トン当たり一万五千七十円（前年一万四千四百四十円）俵六十キロ当たり九百四十四円（八百四十八円）。
- ②ばれいしよでん粉の政府買入基準価格、精粉トン当り十一万九千二百円（前年十一万五千三百三十円）。

てん菜最低生産者価格

トン当たり一万六千四十円

- ①五十二年度てん菜の最低生産者価格はトン当たり一万六千四十円（前年一万三千三百円）
- ②農家手取りはトン当たり一万八千二百円（奨励金含む）（前年一万七千円） 奨励金はトン当たり二千八十円（前年三千九百円）
- ③五十二年産のてん菜糖の糖価安定事業団による買入れ価格 Ⅱトン当たり二千九百九十九円（前年二千九百円）

ポイント

土つきのまま貯蔵を

秋ダイコンのつげ物用の需要は、十月下旬ごろから最盛期に入っているため適期を失わないように収穫し、品質のよいものを出荷するようにする。また、冬季まで貯蔵する場合は、スが入ったり、病害虫にかかされているものは取り除き、さらに長期貯蔵用のものは土つきのまま貯蔵するとよい。

土つきのまま貯蔵すると、表面にそれほど傷がつかず、光沢が出るほか、鮮度が保たれる。収穫の際には、細から抜き取ったダイコンの表皮の土をぬぐい取らないで直ちに貯蔵するようにしたい。

昭和52年度 生乳月別取扱調書

月	51年度実績		52年度計画		52年度実績		対比		補給金		出荷戸数
	乳量	金額	乳量	金額	乳量	金額	計画比	前年比	51補給金	52補給金	
5	1,940,444.5 ^{kg}	130,125,417 ^円	2,076 ^t	151,548 ^{千円}	2,451,558.5 ^{kg}	176,334,473 ^円	118.1 [%]	126.3 [%]	34,170,562 ^円	32,165,571 ^円	316 ^戸
4	2,292,442	163,904,847	2,453	179,069	2,860,361.0	208,147,439	116.6	124.8	43,999,436	58,564,347	316
5	2,907,914.5	204,902,684	3,111	227,103	3,404,350.0	242,362,486	109.4	117.1	56,284,048	71,043,412	313
6	3,730,480.5	257,904,526	3,992	291,416	4,209,294.5	299,316,668	105.4	112.8	74,696,199	89,109,345	313
7	4,000,875	283,878,518	4,281	312,513	4,452,709.5	317,331,427	104.0	111.3	79,787,555	93,491,323	314
8	4,021,335	283,696,288	4,303	314,119	4,527,519.5	321,022,977	105.2	112.6	80,938,936	95,125,330	314
9	3,777,766.5	270,867,889	4,042	295,066	4,257,635.5	306,257,625	105.3	112.7	71,600,798	82,505,695	314
10	3,567,730.5	252,311,685	3,817	278,641					67,270,727		
11	2,865,617.5	207,628,624	3,066	223,818					54,020,615		
12	2,747,345	198,947,269	2,940	214,620					53,215,588		
1	2,554,144.5	182,594,991	2,733	199,509					50,429,549		
2	2,150,602.5	155,880,758	2,301	167,973					40,855,208		
計	36,556,698	2,592,643,496	39,115	2,855,395	26,163,428.5	1,870,773,095			707,269,221	493,056,023	

(累計乳量対比)

52年度 9月迄累計乳量	26,163,428.5 kg	52年度同月迄計画累計乳量	24,258,000 kg	計画比	107.9 %
		52年度同月迄実績	22,671,258 kg	前年比	115.4 %

乳質改善情報

酪農課

中標津農協が出荷している牛乳について、一〇月中旬に酪農検査所が行った乳質検査で、タンクローリー二十一台中、五台が不合格となり中でも四台が細菌数無限大と云う驚くべき結果が出た。

最近やや安定的に乳質を保って来たが、一度にこれだけ多くの不合格乳を出したことは初めてであり、原因の調査に努めています。非常に残念な事である。

今のところ来月四月からは食品衛生法乳等省令に基づき、本規制が行われ、待時検査で不合格乳が出た場合タンクローリー毎返却され、更にそのコースについては数

日間出荷する事が出来なくなる見通しであり、もしこの規制に掛った場合、本人は勿論他人にも損害をあたえ大変な事態になりますので今後お互いに充分注意をして下さい。尚今回の原因については色々あると思われませんが、先月号でお知らせした通り、

- (1) 搾乳器具の洗浄殺菌を完全に実施すること。
- (2) バルククーラーの洗浄殺菌、特にバルクの天井、排乳コックの毎分解洗浄の実施。
- (3) 乳房炎の牛乳は絶対合乳しないこと。
- (4) バルククーラー冷凍機のスィッチを入れ忘れしないこと。

以上について必ず励行することをお願いいたします。

「なかしべつの自然と歴史展」の案内

11月3日(木) ~ 6日(日)
町公民館ホール

税について

相談をしてみよう。

根室税務署では税を知る週間にちなんで相談日を設け納税者から相談を受けることになりました。日頃税について知りたいと思つて居ることなどで結構です相談して見て下さい。多数の参加を望みます。

日時 昭和五十二年十月七日(土) 午後二時
場所 農協会議室

獣医師から一言

乳牛の内科 (1)

雪印中標津工場 芳野 誠

前月までは、乳牛が性成熟をとげてからの大事なライフサイクルである泌乳、生殖についての病気にについて述べました。

乳牛は泌乳という大きな目的のために育種改良されており、泌乳器や生殖器に対する負担が異常に大きくこれを支える消化管らへの依存度も高いのです。

牛は九カ月間の妊娠の後、十カ月間の泌乳があり、全く体の休まる暇はないのです。

消化器、呼吸器、循環器、運動器がそれぞれ懸命に働き続けていますから、その重要度、負担度按比例して病気に罹っていきます。

今回はこのうち消化器の病気について書いてみましょう。

牛は四つの胃をもっていますが、四つの胃の容積は約二五〇リットルでドラムカンよりも大きいのです。ちなみに小腸は六六リットル、盲腸は一六リットル、結腸と直腸とで二八リットルで、消化管の総計は、なんと三五四リットルにもなるのです。この消化管は外界と直接連絡し、口を通して外界の水

や草や飼料が食道・胃・腸を経て再び外界にもどされます。

ですから食べられる飼料の量や質が及ぼす影響は計り知れないものがあるのです。

病気の説明に入る前に、消化に関する正常な状態を述べましょう。

●反芻、ゲップは健康の目安

採食後三〇〜七〇分で始まり、四〇〜五〇回続き一日六〜八回反復します。ゲップは一時間に一七〜二〇回です。：哺乳中の仔牛は反芻はしません。：これが不規則だったり停止したり、又、ゲップがでず回数が少なかったりで異常がわかります。

●第一胃の運動は、一分間に、二〜三回します。

●糞の状態は大事です。

量は一日三〇〜四〇kgで一日に二〜一八回排便し、ボタ餅状が良いのです。

さて、注意したい病気ですが、

●食道梗塞

カブ、馬冷薯など、異物が食道に停滞し梗塞を起すものですが、ウエハによるものも見受けられま

す。もちろん水、飼料が食道を通り過ぎませんし、ヨダレが甚しく首を圧してみると異物の停滞部がわかります。

ゲップがでなくなると鼓脹症を併発し、むしろこのために大事に致つてしまいます。

●鼓脹症 (ガス)

発酵し易い食物を食べたり、発生したガスを口の中へ吐出する暖気がうまく行われない状態に陥つたもので、左側腹部が異常に張り出し、牛は不安となり、下腹部をけつたり、横転することもあり、呼吸が困難となり舌を出し、唾液をたらし、

急性の経過のものは三〜四時間で倒れます。

応急処置としては、①ワラ束を馬のハミのように口にかませ、これに石油やホタル油を塗ります。

②食用の植物油を飲ませます。③ハッカ、シリコンも用いますが、塩酸やアルコールの内服でもよい。

④やむおえない場合以外は第一胃穿孔は極力さけるべきです。これは腹膜炎の原因になるからです。

鼓脹症の原因としては、水分に富んだ牧草、特に開花直前に急速な成長をしたマメ科の牧草地へ放牧すると発病し易く、又、高蛋白

の若い牧草でも発病します。

この他に、二次的に起ることが

あります。例えば食道梗塞や、ビニール袋、ポリプロピレンのビモトワインなどが食道溝に引っかかって起るものです。

●下痢

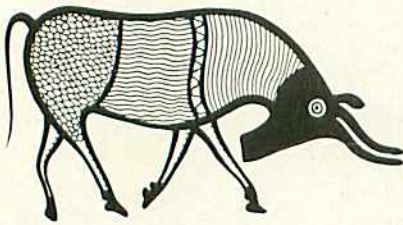
子牛に限らず成牛でも、ひどい下痢をすると体の衰弱も激しく、水分不足をきたすので乳汁生産のうえからも重要です。

原因と考える飼料を中止し易消化のものを与えます。

一度下痢をし衰弱をすると回復には時間がかかりますから飼養管理には充分注意をしたいものです。

消化器の疾患は、もちろんこの他にもいろいろありますが、いづれにしても飼料給与の失宜に依って起ることが殆んどです。

特にこれから舎飼期に入ると、飼料の凍結、サイレージや乾草のカビによる事故が多発してきますから、十分に注意し度いものです。



是非加入しましょう

自賠責共済
自動車共済



自賠責共済

「美人多し、よそ見するな!」



昭和52年 農作業及び交通安全秋期特別運動 実施期間 10月1日～11月30日

運動の重点目標

1. 無理な作業（運転）をやめよう。
2. 過労、過積載による事故を防止しよう。
3. 飲酒作業（運転）をやめよう。
4. スピードをおとそう、無理な追越しをやめよう。
5. シートベルトを必ずつけよう。
6. 夜間の歩行者、自転車利用者に注意しよう。
7. 機械に子供を近づかせないようにしよう。
8. トラクターの作業点検は必ず実施しよう。
9. トラクターの安全フレームを装着しよう。
10. 道路運行は、他の車の邪魔にならないようにしよう。

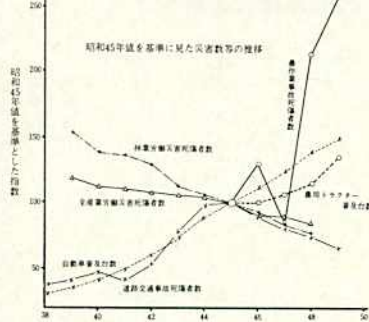
今日も無事故で 明るいわが家



主催 北海道 北海道農作業安全運動推進本部
地区農作業安全運動推進本部

協力 北海道警察本部
北海道交通安全推進委員会

他産業労働災害事故と農作業事故の比較



農協史に 組合員の写真を

—農協史編集委員会で決まる—

「中標津農協三十年史」とタイトルを決め、A五版の大ききで五〇〇頁程度の記念誌を明年五月を予定に発刊することになりました。

農協三十年史の執筆者は、札幌市の木村慶一氏で、デイリーマン誌の元編集長をされた方です。農業に深い見識をもたれ、また叙情的な感じを与える人でありま。

このたびの編集委員会で、組合員の氏名だけでなく、顔写真を載せ、現在地入植年度と、入植者名を記載することになりました。

この取材については

- (1) 写真、組合員の顔写真で各戸の戸主の適当な写真がありました

- (2) 入植者名と入植年度 農協職員が取材する。
- (3) 期間、五十二年十一月末日
- (4) お願い 写真を持ち合わせており、農協事務所にご用の時、お届けいただく場合は、管理課迄お願いします。

酪対情報

限度数量の大巾超過か

五十二年度の加工原料乳の限度数量は一五八万トと昨年より二〇万トの枠の増加が見られたが、尚かつ大巾な限度枠の超過となりそう。

北農中央会の試算によると四月以降の生乳生産の趨勢から見ても前年対比、全国で六、八%、北海道九、七%の増加を推定しているが、此の伸び率でいくと限度数の超過分は全国で二〇三、五千ト(五〇億)、北海道だけでみると一三九万七千ト(三四億三千万)となりそう。このような情勢をふまえ酪農関係の諸団体としては、関係機関への運動を展開してきたが、中央情勢が非常にきびしいことから今後この問題を最重点項目に掲げ超過分の全量を補給金の対象とするよう強力な運動を展開することになりました。

お知らせ

就業時間の変更

十一月一日より左記の通り就業時間が変更になりますのでお知らせ致します。

【事務所】

平日 午前九時～午後四時三十分
土曜日 午前九時～十二時

【ストアール】

平日・土曜日同じ
午前十時～午後五時三十分

【スタンド】

平日・土曜日同じ
午前九時～午後五時三十分

保健婦だより

ある有名な映画監督の健康に関

する秘訣は、一日に何度か自分の顔や姿を鏡の中に写しては、そのときどきの顔色や表情を見て健康状態を知ることだとか。

昔の心得ある武士達も懐中鏡を備えていて密かに髪のみだれとか、顔色に注意したそうです。

昔から、命は宝、命に過ぎたる宝なし、などといわれながら案外日常の生活で忘れられやすいのが健康ではないでしょうか。

ちよつとここで考えて見て下さい。車は便利なものですがどんなに高級車であっても六カ月毎に必ず定期検診を受けているはずで

その度毎に五千円位のお金はかかるでしょう。しかも車の寿命はせいとこ五年です。

【概況】

十一月中旬ごろまで、移動性高

気圧と低気圧が交互に通り、天気は周期的に変わり、比較的晴天の日が多い見込です。下旬には一時大陸の高気圧が強まり寒くなります。十二月は変動が大きく、暖かい日もあります。冬型の気圧配置の日が多く日本海側では雪が降りやすいでしょう。

▼十一月 中旬頃までは天気は周期的に変わり温暖な日が多いですが、低気圧が北海道付近で発達し一時荒れもようの日があります。

平均寿命五年そこの車と七十年以上の人間の体とどっちがより多くの検診を必要とするでしょうか。十一月の検診時期が近づきました。今年も成人病検診だけでなく結核検診も同時に実施することになりました。各部落の保健会を中心に検診の準備として名簿を作成したり、映画会などを開いています。

車は車検・人は検診。あなたも自分の健康を確かめてみませんか？

時 11月7日から11月12日
場 所 各部落毎(詳しくはチラシを見て下さい。)

料 金 無料

対 象 ●結核検診、エヒノコック
ス症検査(15才以上の全住民)

よう。下旬は大陸の高気圧が強まり冬型の気圧配置になりやすく、日本海側では雪の降る日が多くなります。平均気温は並みないしやや高、降水量は並。

▼十二月 変動が大きく、一時移動性高気圧におわれ寒さのやわらかい日がありますが、冬型の気圧配置の日が多い見込みです。日本海側が降りやすく、太平洋側では晴天の日が多いでしょう。平均気温はやや低く、降水量は日本海側でやや多く太平洋側でやや少ない。

●成人病検診(30才~64才の成人) 又は各部落の保健会、役場保健課へ問い合わせして下さい。(役場保健課)



青年部だより

団体優勝と個人で連田君最優秀賞

管内農業機械技術競技大会



十月四日、根釧農試ほ場を会場に北海道立根釧農業試験場創立五十周年記念事業協賛「第八回根室内農業機械技術競技大会」が開催され、この競技大会に中標津農協から青年部員五名が参加、見事団体優勝を挙げた。また、個人賞においても連田尚弘君(豊岡支部)が最優秀賞を獲得しました。

この競技大会は根室支庁等が主催して、大型農業機械の普及増加にともない、死亡、負傷等の事故が発生しているため、農作業安全運動の一環として競技大会を実施し、安全意識の高揚と管理、利用技術の向上を図ることを目的として開催したもので管内各農協協より多数参加して行なわれた。

全道大会の日程

▼全道農協青年部大会(十二月八・九日、登別温泉) Ⅱ大会テーマは「協同活動強化運動をすすめるために」。分科会討議は組織、農協、米穀、畑作青果、酪農畜産、農村問題の六つ。講演をはさんで全体会議を開く。また、大会二日には活動実績発表会を行う。

婦人部

全道大会の日程

▼全道農協婦人部大会(十一月一六・十七日、登別温泉) Ⅱ大会テーマは「農業とくらしを守る婦人の協同活動を強めるために」。五つの分科会で討議したあと、全体会議を開いて問題点を煮詰める。

《1日皆貯金》
好成績で終わる
ご協力ありがとうございました



一日皆貯金を例年通り、十月十七日より二十日まで実施いたしました。お陰様で皆様のご協力によりまして、昨年を上廻る好成績を挙げる事が出来ました。

その実績は次の通りです。

一日貯金の実績

今年度 六七、六三三千元
前年度 四九、九七九千元
増加額 一七、六五四千円

尚、近日中に開かれる理事会で抽選を行ない、当選者に先にご案内いたしました記念品を差し上げます。

10月15日現在 ホクレン相場

品目	規格	区分	価格(kg当り)	摘要	
初生統	加工用	生後1~2週間	枝	410	
	哺育用	50kg以上	生体		
肉用素牛オス	200~250	kg	生体	460~470	府県渡し価格
	251~300		"	470~480	"
	301~350		"	480~490	"
	351~400		"	490~500	"
	401~		"	510上	"
肉用素牛メス	200~250		"	520~530	"
	251~300		"	540~550	"
	301~350		"	560~570	"
	351~400		"	570~580	"
	401~		"	580~590	"
廃用牛	ガリ物	枝	650	中心	"
	中	枝	750	中心	"

畜肉情報

畜産販売係

組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	
バ 藤原勝一	0	0	0	バ 山崎 翠	0	1	1	バ 八木原明治郎	0	0	0					
バ 秋山実太	0	1	0	バ 藤田 貞蔵	0	0	0	バ 中浦健夫	1	0	1					
バ 佐藤春行	0	0	1	バ 藤田 誠一	0	0	0	バ 前原秀隆	0	0	1					
バ 佐藤一二	0	0	0	バ 剣持幸男	1	1	0	バ 町田芳照	0	0	0					
バ 清原由太郎	0	0	0	バ 遠藤与畏二	0	0	0	バ 房川喜清	0	0	0					
バ 湯山 稔	2	0	1	バ 宮田正晴	0	0	0	バ 宮脇正治	1	2	1					
バ 湯山幸男	1	0	1	バ 鷲見孝男	1	0	0	バ 滝本信孝	1	0	0					
バ 三宅 要	0	0	1	バ 真部 愈	0	0	0	バ 富沢保男	0	1	0					
バ 門馬四郎	0	0	0	バ 渡辺利秋	1	0	0	バ 谷村茂夫	1	2	1					
バ 中塚文夫	2	2	0	バ 田代良司	1	2	0	バ 武田三郎	0	0	0					
バ 石原竜雄	1	0	0	バ 相沢武雄	0	0	0	バ 藤井弘美	0	0	0					
バ 西井 武	1	1	1	バ 太田俊昌	0	0	0	バ 北村一仁	0	0	0					
バ 土井上友一	0	0	0	バ 古瀬敏弘	1	0	1	バ 杉本匡視	0	0	1					
バ 土井上政雄	1	0	0	バ 小谷盛一	1	0	0	バ 佐藤載康	1	0	1					
バ 小沼佐太男	2	0	0	バ 秋山政雄	0	0	0	バ 松本金市	1	0	0					
バ 熊谷 正	1	1	1	バ 齊藤富吉	1	0	0	バ 飲野一郎	0	0	0					
バ 山本雪信	0	1	1	バ 広瀬定夫	1	0	1	バ 横田国雄	0	0	0					
バ 真野米光	1	0	1	バ 半沢勇雄	1	1	1	バ 竹下日吉	0	1	0					
バ 寺島今朝松	0	0	0	バ 笠原良夫	0	1	0	バ 柳田治郎	2	0	0					
バ 佐藤憲治	1	1	1	バ 武田伊三郎	1	1	1	バ 青木喜三	0	0	1					
バ 佐藤忠男	1	1	1	バ 後木 章	1	1	1	バ 青木重次	0	0	0					
バ 佐藤和夫	0	0	0	バ 久保花次郎	0	1	0	バ 関又左工門	0	0	0					
バ 塩田専治	1	1	0	コ 松本豊治	--	--	--	バ 横田好一	1	2	1					
バ 五十嵐徳次	0	1	1	バ 新井 真	0	1	0									
バ 田中清司	1	0	1	バ 片野 博	1	0	1									
バ 山本秀夫	0	1	0	第二俣落地区												
バ 安達武蔵	0	1	1	バ 西村徳守	1	0	1									
バ 志賀安尾	0	0	1	バ 保科 清	0	0	0									
バ 志賀正治	0	0	0	バ 松岡喜代之助	0	0	0									
バ 篠永鉄雄	0	0	0	バ 田代 昭	0	2	0									
俣落地区				バ 井ノ口定則	1	1	2									
バ 原 藤子	0	0	0	バ 安江八五郎	1	2	2									
コ 大木敏夫	0	0	0	バ 剣持広昭	1	0	0									
コ 小林金司	1	2	2	バ 齊藤 別	0	0	0									
バ 板橋松寿	1	0	1	バ 峰松秀樹	1	2	1									
バ 岩井 昇	1	0	1	バ 山口広幸	1	1	1									
バ 服部一好	1	1	0	バ 沖 一美	0	0	1									
バ 遠藤太一	0	0	0	バ 片岡宅次	0	0	1									
バ 遠藤幸吉	1	1	0	バ 弾正原正春	1	0	1									
バ 高橋正三	0	0	0	バ 国光 昭	0	0	0									
バ 松村晴由	0	0	0	バ 遠藤直行	0	0	1									
バ 小山美芳	0	0	0	バ 佐伯柱次	0	1	0									
バ 本村正春	0	1	0	バ 来栖 寛	0	1	0									
バ 菅原 清	0	0	0	バ 川村清身	1	1	1									
バ 上村太平	1	0	0	バ 加藤 繁	0	0	0									
バ 上村政則	0	0	0	バ 萩原蝶七	0	0	0									
バ 上村力	0	1	0	バ 星野昇司	0	0	0									
バ 松本 勇	0	0	0	バ 星野盛恵	1	1	1									
バ 藤原信男	1	0	0	バ 滝本勇雄	1	0	0									
バ 遠藤忠義	2	1	1	バ 滝ヶ平義明	0	0	2									
バ 山下鉄男	0	1	1	バ 滝ヶ平 茂	1	0	0									
バ 阿部幸一	0	2	0	バ 滝ヶ平敏夫	1	1	1									
バ 上ヶ島春雄	0	0	0	バ 内山 勲	0	0	0									

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

旬別	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	187	114	13	0	0	0	314
中旬	194	105	15	0	0	0	314
下旬	189	109	15	1	0	0	314
合計	570	328	43	1	0	0	942
合格率	60.5	34.8	4.6	0.1	0	0	100

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100	100	100	100	100	100	100	100
中旬	100	100	100	100	100	100	100	100
下旬	100	98.0	100	100	100	100	100	99.7
月平均	100	99.3	100	100	100	100	100	99.9

10月乳質検査成績表

中標津農業協同組合

組合員名				組合員名				組合員名				組合員名			
上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	
当幌地区				高藤祐蔵	0	0	1	高橋一男	1	0	1	大西英明	0	0	0
飯島光五郎	0	0	2	連田弘	1	1	1	高平幸夫	1	0	0	福島昭憲	0	0	0
飯島清一	0	0	0	永谷雄幸	0	0	1	中本要次郎	1	0	0	下川原秀子	0	0	0
奥田勝佳	2	1	1	長繩弘	0	1	1	半沢かね	0	0	0	三輪貞夫	0	0	0
奥田岩男	0	0	0	麻郷地忠	0	0	0	国見正雪	1	1	1	西山一義	0	0	0
中山安寿	1	1	1	麻郷地忠勝	1	1	1	国見実	0	1	0	佐々木武雄	0	0	0
山川健三	1	0	0	小針晴信	1	1	0	齊藤哲雄	0	1	0	日下一芳	0	0	0
阿部俊勝	0	0	0	佐藤吉次	-	-	-	齊藤栄七	0	0	0	石田春夫	-	-	-
鈴木吉三	0	0	0	花川秀一	0	1	0	伊藤七郎	0	0	1	加茂正毅	1	0	1
西垣信男	1	1	2	古沢亀治	0	1	0	千葉清一	1	0	0	佐々木政行	1	1	1
小原治	0	0	0	花川稔	0	0	0	村井直行	0	1	1	三友盛行	0	0	1
吉田繁行	0	0	0	今井秀和	0	0	0	山崎正喜	1	0	0	高島貞作	1	0	0
竹村満次	0	0	0	東原正広	0	0	1	松本嘉吉	-	-	-	福島信一	0	0	0
高橋常次	0	0	0	岡部実	0	1	0	後藤田信夫	0	0	0	古田起雄	0	1	0
筒井留雪	0	0	0	渡辺善行	0	1	1	齊須安雄	2	0	0	本田萌	0	1	1
筒井正守	0	0	0	田島育三	-	-	-	今井靖清	1	1	1	中村敏夫	0	0	0
室井太吉	0	0	0	竹村昇	-	-	-	山田良太郎	1	0	1	真野勇	1	1	1
安田康正	1	0	0	松隈健二	1	1	1	房川喜延	1	1	1	多田俊夫	1	1	1
山田一男	0	0	0	小林義忠	0	0	1	笹淵二郎	0	0	0	小岩正一	0	1	1
松田昌介	0	1	0	古瀬イセ	0	0	0	井上亮夫	1	0	0	伏見哲	0	0	1
舟田正明	1	1	1	藤本久雄	1	1	1	笠井剛	0	0	0	中川一平	0	0	0
菊地良	2	0	0	小川清	0	0	1	赤堀岩男	0	0	0	武佐地区			
遠田斐三	0	0	0	佐藤道嘉	0	0	0	鈴木敏夫	1	1	0	丹羽孝	0	0	0
西山高蔵	1	1	2	佐藤末美	1	1	1	俵橋地区				丹羽正明	0	1	1
長正路正義	0	0	0	佐藤抔	0	1	1	名越成夫	1	0	1	亀井泉	0	0	0
大野正己	0	0	0	佐藤永雄	1	0	0	佐藤清	1	0	0	中司哲弥	0	0	0
吉成はな子	1	0	0	佐藤東	0	0	1	乾守夫	0	1	1	上原徳保	0	0	0
福村守	0	1	1	望月幸男	1	0	0	乾勝美	0	0	1	工藤政義	0	0	0
遠藤弘成	1	1	1	白築政博	0	0	0	伊東武	0	0	1	舟橋清高	0	0	1
笠原金吾	1	1	1	武田勇	2	2	2	大山富雄	1	2	2	酒井清志	0	1	1
唐崎幸司	0	0	0	高橋敏夫	1	1	1	山下孝二	0	0	0	目黒雅隆	0	0	0
中標津地区				熊倉彦吉	0	1	0	北川栄治	0	1	0	千葉弘	0	0	0
緩坂欣一	1	0	1	小林茂雄	1	1	1	水本勘蔵	0	0	0	工藤剛	1	0	0
緩坂恭民	1	1	1	阿部正六	0	1	1	水本一三	0	0	1	児島喜一	1	1	2
吉川晴久	1	1	0	佐藤三男	0	1	0	山本正八	0	1	0	児玉光彦	1	0	0
滝場光明	0	1	1	長瀬貞義	1	0	0	榎田英雄	1	1	1	坂口亀一	2	2	1
久保慶一郎	0	0	0	開陽地区				穴吹貞明	0	1	0	白田稷	0	0	0
久我良夫	0	0	0	土井上昭男	1	1	2	佐藤正男	1	1	1	新谷正二	0	0	1
正城純一	0	1	0	向館金吾	0	1	0	佐々木文作	1	1	0	井口精一	1	1	0
荒昭一	1	1	1	山田輝男	2	2	2	野口忍	0	0	0	川上茂	0	1	0
桜井誠造	0	0	0	船越政雄	1	0	2	太田功	0	0	0	石橋喜作	-	-	-
佐々木繁雄	0	0	0	浅野トミ子	1	1	2	岡次郎	0	0	0	長谷川寿	0	0	0
佐藤晴信	0	0	0	吾妻寅男	0	0	0	金子安有	0	0	0	花尻武夫	1	1	1
奥村武雄	2	1	1	鈴木嵩	1	1	1	高野勇	0	0	0	中条由治	0	0	1
阿部忠次郎	2	2	3	桜井精治	1	1	0	中林勇	0	0	0	中条幸作	0	1	0
三森章司	1	0	1	横田孝博	-	-	-	工藤隆弘	1	1	2	奥村保章	0	1	1
川手輝雄	1	1	1	高橋寅之助	0	1	0	赤波江清	1	0	0	萱岡信二	0	0	0
下山恵市	0	0	0	中本栄太郎	1	0	0	沢口正志	1	0	1	高橋昌信	0	0	0
石崎多門	0	0	0	丸田良夫	0	0	0	桜井義雄	0	0	0	中塚秀夫	1	1	1
林仁一郎	1	1	1	鈴木重蔵	1	1	0	大西秀良	1	0	1	黒田定利	0	1	1

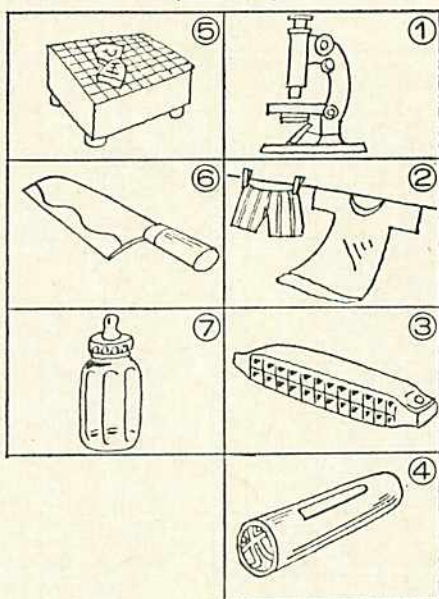


く い ず ???
あなたもやってみよう

解き方

ヒントの絵(①~⑦)に関係のある言葉を、マス目の中に入れてから、二重ワクの七文字を上から下へ読むと、ある言葉ができます。その言葉だけをハガキに書いて送ってください。

(ヒント)



★応募規定★

①官製はがきに答えを書いて送って下さい。

②氏名・年令・住所

③対象 小・中学生

④宛先 中標津町東七条南二丁目

中標津農協 組織農政係

※切日は十一月十五日

※正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決めます。

十月号の正解は「フオークダグ

ス」でした。次の十名の方に記念品を差し上げますので農協へとり来て下さい。

(当選) 飯島哲夫君、(東俣落)

板橋さゆりさん、(南俣落) 鷺見

健君、(共栄) 古瀬ゆきさん、小

谷政志君、(西武佐) 清原由美子

さん、(南武佐) 佐藤博喜君、(

南俣橋) 下川原義彦君、(開陽)

中本純一君、(北開陽) 山田百合

子さん。



講演と
研修会の開催

日程 昭和五十二年十一月五日
場所 中標津町ホテル葵
主催 中央畜産会
講演 「自給飼料生産利用推進施
策の現状と方向」

農林省畜産局自給飼料課長

山田 績氏

飼料の生産と利用を主題に講演
と研修会が左記の日程により開催
されますので多数参加されますよ
うお知らせいたします。

全体討議の助言者

根拠農業試験場 三谷 允氏

農業改良普及所長 横川忠三氏

酪農家 深瀬満義氏

●高、当日の昼食は主催者側で準備いたします。

暮らしのアイデア

家具の予算は
設計時に検討

家具、カーテンは個人の好みもある
るので、別途工事にする事が多
い。特別に設計した家具を

注文する場合もあるが、一般には
既製品の中から選ぶことの方が多
い。
住まいが完成するのと前後して
インテリアのショールームなどで
自分の好みの家具をそろえるのは
楽しいもの。
ところが、いざ品物を決めて費
用を計算してみると、予想外に費
用がかかるのにビックリというケ
ースも多い。最低必要な品を買
うための予算は、前もって用意し
ておかなければならない。家具、カ
ーテンの費用は、一般の住まいな
ら工事費の一〇〇程度といわれる。
定価のはつきりしたものだから、
素人でも予算は立てやすい。設計
の段階から家具の出費も一緒に検
討しておきたいもの。

「粗飼料利用と今後の酪農
経営方向」

帯広畜産大学 天間 征氏

「道東における飼料作物の
技術体系について」

北海道立根拠農試専技

金川直人氏